

港区環境基本計画（素案）に寄せられた区民意見に対する区の考え方

1 意見数

	件数
(1) 区民意見募集（郵送、インターネット等）により寄せられた意見 募集期間：令和5年12月1日（金）から令和6年1月4日（木）まで 人 数：6人（うち郵送0人、インターネット4人、ファックス0人、持参2人）	11件
(2) 区民説明会での参加者意見 開催期間：令和5年12月11日（月）から同月18日（月）まで 開催回数：7回 人 数：12人（芝4人、麻布0人、赤坂1人、高輪0人、芝浦港南7人）	29件
計	40件

※ 件数は、複数の内容を含んだ区民意見を分割した後の件数です。

2 意見への対応状況

	対応状況	件数	区民意見募集	区民説明会
1	意見を反映し、計画素案を修正したもの	2件	2件	0件
2	計画素案の記載の中で趣旨を反映しているもの	17件	3件	14件
3	計画素案では記述していないが、既存事業等で対応しているもの	2件	1件	1件
4	意見の内容が対応できないもの	0件	0件	0件
5	区に対する意見・要望として受けたもの	19件	5件	14件
	計	40件	11件	29件

区民意見募集（パブリックコメント、区民説明会での参加者意見等）により寄せられた意見に対する区の考え方

【対応状況欄の凡例】

- 1 意見を反映し、計画素案を修正したもの 2 計画素案の記載の中で趣旨を反映しているもの
3 計画素案では記述していないが、既存事業等で対応しているもの

※掲載順は、主な該当分野ごとにまとめ、同種の区民意見別に並べた上で、対応状況の順に掲載しています。

No	主な該当分野	区民意見	区分	回答部署		区の考え方	対応状況
				部	課		
1	基本目標1 脱炭素社会の実現と気候変動への適応による安全・安心なまち	施策1 取組 1-① 「建築物の省エネルギー化とエネルギー利用の最適化」の項目「エネルギーの面的管理・利用の促進」の取組は、二酸化炭素の排出量の削減効果が高く、重要な施策であることが伺える。内容について、「港区低炭素まちづくり計画」と同様にコージェネレーションシステムや自立分散型エネルギーシステムに言及して具体的な記載とすることをご検討いただきたい。	持参	環境リサイクル支援部	環境課	御意見の趣旨に沿って記載を修正します。	1
2	基本目標1 脱炭素社会の実現と気候変動への適応による安全・安心なまち	施策4 取組 4-①「自然災害リスク軽減」の内容として、地域冷暖房区域が多い港区では、エネルギーの面的利用と自立分散型エネルギーシステムの導入促進が災害時の電力や熱の確保に有効であると捉えている。そのため、前項同様に「港区低炭素まちづくり計画」の趣旨を踏まえた形で具体的な記載とすることをご検討いただきたい。	持参	環境リサイクル支援部	環境課	御意見の趣旨に沿って内容を追記します。	1
3	基本目標1 脱炭素社会の実現と気候変動への適応による安全・安心なまち	企業と企業等を繋げることは自治体の大事な役割だと思う。再生可能エネルギーは地域密着であるため、地域の強みを利用することができる。	区民説明会 (赤坂)	環境リサイクル支援部	環境課	事業者、区民及び区の連携組織「みなと環境にやさしい事業者会議（m e c c）」では、企業等が繋がる新しい協働の場として、環境保全に関する資源の共有や事業活動等の推進を図り、環境保全意識の向上に取り組んでおります。また、福島県白河市をはじめとした3自治体と再生可能エネルギーの活用について協定を締結しており、麻布地区総合支所や麻布保育園等の区有施設で再エネ電力を使用しております。	2
4	基本目標1 脱炭素社会の実現と気候変動への適応による安全・安心なまち	電気自動車や環境に配慮した機械の導入、補助金などの取組があれば教えてほしい。	区民説明会 (芝)	環境リサイクル支援部	環境課	別冊の「創エネルギー・省エネルギー機器等導入促進」で示しているとおり、各種助成制度をご用意しております。区では電気自動車購入への助成はしておりませんが、充電設備の購入についての助成はしております。	2
5	基本目標1 脱炭素社会の実現と気候変動への適応による安全・安心なまち	段階的に電気自動車への切替を進めている中で、充電設備などはどこにあるのか。	区民説明会 (芝)	環境リサイクル支援部	環境課	庁有車の電動化への対応として、各地区総合支所に充電設備を1基以上設置しております。また、令和5年11月現在、港区内の民間施設等に約670基の充電設備が設置されております。	2
6	基本目標1 脱炭素社会の実現と気候変動への適応による安全・安心なまち	現在さらに大きいビルが建てられている。この動きが進むと、「2050年に二酸化炭素排出量をゼロにする」とは逆行するのでは。	区民説明会 (芝浦港南)	環境リサイクル支援部	環境課	延床面積が増えると二酸化炭素排出量が増加するのは御指摘のとおりです。区では「港区民の生活環境を守る建築物の低炭素化の促進に関する条例」に基づく「港区建築物低炭素化促進制度」により、建築物の新築、増改築を行う建築主に対して省エネルギー性能基準を順守するよう義務付け、エネルギー消費に伴う二酸化炭素排出量の低減を図っております。今後も状況を踏まえて省エネルギー性能基準の一層の引き上げを検討してまいります。また、区では令和4年度に、調達可能な全ての区有施設に再生可能エネルギー100%の電力を導入し、約15,000t-CO ₂ を削減しております。使用電力の再エネ化による効果は	2
7	基本目標1 脱炭素社会の実現と気候変動への適応による安全・安心なまち	港区は個人の一戸建てが少ない。戸建てへの太陽光パネル設置からの効果はそれほど見込めないのでは。集合住宅への設置が一番の課題ではないか。	区民説明会 (芝浦港南)	環境リサイクル支援部	環境課	集合住宅共用部を対象として、設備改修や運用改善等を支援する、省エネコンサルタントを無料で派遣しております。再生可能エネルギー機器の設置や再生可能エネルギー由来の電力切替え等についても、そのような機会を捉え、働きかけてまいります。	2
8	基本目標1 脱炭素社会の実現と気候変動への適応による安全・安心なまち	今後、災害時の電気の確保を進めていくと思うが、方針などはあるか。	区民説明会 (芝)	防災危機管理室	防災課	災害時の電力確保は、区が災害応急対策を実施していく上で極めて重要です。災害応急対策の拠点となる本庁舎や各地区総合支所では、災害により停電が発生した場合に、必要な電力を72時間以上供給することができる非常用電源装置を備えております。また、各避難所においては、炊き出しや夜間の照明、暑さ対策のための冷風機等の電力を確保するための発電機、スマートフォン充電用の蓄電池、さらに医療救護所を設置する避難所においては、精密機器を使用するための空気圧鉛電池についても備蓄しています。併せて、区内事業者と「災害時における電動車両等の支援に関する協定」を締結し、災害時に電動車両の迅速かつ円滑な貸与を実施することで、災害時における電力確保の体制の充実を図ります。	3
9	基本目標1 脱炭素社会の実現と気候変動への適応による安全・安心なまち	脱炭素先行地域の国の補助金事業もあるように、再生可能エネルギー業者は自治体との連携がマストになっている。太陽光に限らず地熱やバイオマスも含めて、港区で再生可能エネルギーを増やすとなると、新設のビルだけでは足りないのではないか。	区民説明会 (赤坂)	環境リサイクル支援部	環境課	区内の再生可能エネルギー導入ポテンシャルは、建築物（住宅、事業所等）の屋根に設置する太陽光発電が大部分を占めております。区は、新築か既存建築物かに関わらず、太陽光発電システムを導入する区民、管理組合、中小企業者等に助成金を交付するなどして再エネ導入を促進しております。窓ガラスに使える透明な太陽光発電パネルやフィルム型ペロブスカイト太陽光	5

No	主な該当分野	区民意見	区分	回答部署		区の考え方	対応状況
				部	課		
10	基本目標1 脱炭素社会の実現と気候変動への適応による安全・安心なまち	2050年ゼロカーボンシティの達成としているが、2050年では遅すぎる。もっと前倒しして達成するために取り組んでほしい。	区民説明会 (芝)	環境リサイクル支援部	環境課	気候変動に関する政府間パネル(IPCC)から、平成30(2018)年に公表された「1.5℃特別報告書」において、産業革命前の水準からの世界の平均気温の上昇を1.5℃に抑えるためには、2050年頃までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする必要があると示されたことを受け、世界各国では2050年までにカーボンニュートラルを実現することが表明されております。 ゼロカーボンシティの達成については、2050年というのではなく、2050年を期限として可能な限り早期に達成するという姿勢で取組を推進しており、港区環境基本計画では、二酸化炭素排出削減目標を掲げるに当たり「可能な限り早期の排出実質ゼロの達成をめざします。」と記載しております。	5
11	基本目標1 脱炭素社会の実現と気候変動への適応による安全・安心なまち	太陽光の機材などについては、海外のものを多く輸入しているのので、できるだけ国産のものを選んで国内経済・技術の発展に貢献してもらいたい。太陽光の機材などについて、日本は今技術的にどうなのか。	区民説明会 (芝浦港南)	環境リサイクル支援部	環境課	現在、太陽光パネルはシリコン製が主流ですが、フィルム型ペロブスカイト太陽光電池という折り曲げ可能なものが日本で最初に研究・開発されており、東京都下水道局などで実証実験が行われております。	5
12	基本目標1 脱炭素社会の実現と気候変動への適応による安全・安心なまち	港区は、太陽光パネルの寿命が来た時に、ごみにせず再利用することも含めて進めているのか。	区民説明会 (芝浦港南)	環境リサイクル支援部	環境課	太陽光パネルの再利用の件は計画には記載等してはおりませんが、今後の技術革新等の動向を注視し、配慮して取組を推進してまいります。	5
13	基本目標1 脱炭素社会の実現と気候変動への適応による安全・安心なまち	太陽光というと戸建てメインで考えられてしまうと思うが、港区はビルや共同住宅が多いので、規制で設置を定められないか。地球環境に加えて、防災の面でも役立つと思う。	区民説明会 (芝浦港南)	環境リサイクル支援部	環境課	東京都が、令和7年4月から「建築物環境計画書制度」を強化し、大規模建物の新築等を行う建築主を対象として、新たに再生可能エネルギー利用設備設置等を義務化するとしております。	5
14	基本目標1 脱炭素社会の実現と気候変動への適応による安全・安心なまち 基本目標2 ごみを減らして資源が循環するまち	古くなった太陽光パネルは焼却できないという問題点がある。太陽光パネルの処分まで含めた「環境」は考えているのか。	区民説明会 (芝浦港南)	環境リサイクル支援部	環境課	一般的に20年～30年の寿命とされる太陽光パネルですが、使用後についてもリサイクル、廃棄、事業者の経費負担等の課題があることを考慮して取組を推進してまいります。	5
15	基本目標2 ごみを減らして資源が循環するまち	フードドライブについて、事業者からの提供についても対応できるのか。	区民説明会 (芝)	環境リサイクル支援部	みなとりサ イクル清掃 事務所	区が行っているフードドライブは、個人からの寄付に限定しており、事業者からの問い合わせに対してはフードバンク団体や提供先団体の情報提供を行っています。	5
16	基本目標2 ごみを減らして資源が循環するまち	食べ残しを持って帰りたいという断られることもある。持ち帰り可の店と不可の店がばらばらなので、区のほうで基本持ち帰り可(自己責任)という指針を出してくれないか。 海外だとドギーバッグの取組を当たり前に行っているが、どうか。	区民説明会 (芝浦港南)	環境リサイクル支援部	みなとりサ イクル清掃 事務所	食べ残しの持ち帰りについては、持ち帰り後の食品衛生法や製造物責任法による健康被害責任の整理を含めて国で検討し、持ち帰りのガイドラインの作成を行っていると考えています。 国による未利用食品提供や持ち帰りに関するガイドライン整備等の動向を注視	5
17	基本目標2 ごみを減らして資源が循環するまち	某チェーン企業の店舗では、持ち帰りは自己責任ということで容器もくれる。昔は、食品衛生上の問題から持ち帰りを断っていたが、最近は、事業ごみを減らせるということで持ち帰りを歓迎している店もある。企業やお店によってしまうので、港区だけでも方針を統一してほしい。	区民説明会 (芝浦港南)	環境リサイクル支援部	みなとりサ イクル清掃 事務所	食べ残しの持ち帰りについては、持ち帰り後の食品衛生法や製造物責任法による健康被害責任の整理を含めて国で検討し、持ち帰りのガイドラインの作成を行っていると考えています。 国による未利用食品提供や持ち帰りに関するガイドライン整備等の動向を注視してまいります。	5
18	基本目標2 ごみを減らして資源が循環するまち	防災にも絡むことだが、日本の缶詰の賞味期限は非常に短い。期限が短いと廃棄が増える。もう少し、ベースとなる賞味期限を延ばせないのかと思う。	区民説明会 (芝浦港南)	環境リサイクル支援部	みなとりサ イクル清掃 事務所	缶詰の賞味期限は二割くらい余裕をとって表示されていると聞いています。今後もフードドライブの推進により、食品ロスの削減に努めてまいります。	5
19	基本目標3 健康で快適に暮らせるまち	新飛行ルートを止めて海上ルートに戻してほしいという区民の声をはっきりと国に伝えてほしい。また、その区民の声を基本計画に反映させてほしい。	区民説明会 (芝)	環境リサイクル支援部	環境課	新飛行ルートに関して、これまで区長や議長が住民説明会を求めてきました。環境課としても事務的な手続きを通して求めています。これからも確実に実施されるよう求めていきます。 ルートの変更について、固定化回避の検討会を開催しています。区は、引き続き、検討を早急に進めるよう求めていきます。	2
20	基本目標3 健康で快適に暮らせるまち	アスベスト対策として特に力を入れていることや港区独自の取組はあるか。	区民説明会 (芝)	環境リサイクル支援部	環境課	アスベスト除去工事等に関する看板の設置を、法律で定める期限よりも早くするようにお願いしています。具体的には、木造建築物の解体やアスベスト除去の改修工事は着工の15日前まで、木造以外の建築物の解体は着工の30日前までに設置し、事前周知の徹底をお願いしています。次に、大気汚染防止法においては除去に関する届出が義務化されていないレベル3の飛散しにくいアスベストに対しても除去工事着工前の届出を要請しています。また、レベル1・2の工事は現場に行き、養生がきちんとされているかも含めて確認しています。レベル3は、解体現場に限るが、アスベストの有無の見落としがないか事	2
21	基本目標3 健康で快適に暮らせるまち	羽田空港周辺の飛行機の騒音が気になっている。どのような対応を考えているのか。	区民説明会 (芝浦港南)	環境リサイクル支援部	環境課	素案64ページに騒音に関する現状と、騒音測定調査を行っていることを記載しています。また、素案69ページの取組8-2に、羽田空港新飛行経路についての取組を記載しています。区では、飛行機の航路の下で騒音測定をしているほか、国に対して要望を出しています。区では、国に、飛行ルート固定化回避の検討を加速してほしいと要望を出しており、動向を注視しています。	2
22	基本目標3 健康で快適に暮らせるまち	オリンピックの時から問題になっていた水質の件はどうなっているのか。	区民説明会 (芝浦港南)	環境リサイクル支援部	環境課	都では、雨が降り始めた直後くらいの汚水をためておけるものを整備しているそうです。整備の要望は区長から都知事に伝えているところです。	2
23	基本目標3 健康で快適に暮らせるまち	ごみを自動で圧縮するIoTスマートごみ箱(SmaGO(スマゴ))を表参道で見た。このような事業に区が関わると良いのではないか。太陽光発電のエネルギーで圧縮し、回収する回数を減らせるのでコスト削減になる。	区民説明会 (赤坂)	環境リサイクル支援部	環境課	地域の課題解決のため、企業が多い港区の強みを活かして、企業と協力して何かできないか、新技術の効果や設置条件を調査、研究するとともに、企業との連携を視野に、実現可能性を今後の検討課題とします。	5

No	主な該当分野	区民意見	区分	回答部署		区の考え方	対応状況
				部	課		
24	基本目標3 健康で快適に暮らせるまち	屋内喫煙所設置費助成制度について、助成要件の維持管理費に千代田区と同様、賃料を対象にしていきたい。	インターネット	環境リサイクル支援部	環境課	屋内喫煙所設置費助成制度については、令和6年度から制度を見直し、維持経費の年限の撤廃及び新規設置経費の補助額を増額する等、より活用しやすい制度として取り組んでまいります。	5
25	基本目標3 健康で快適に暮らせるまち	航路云々ではなく、技術的な、機体自体の改善はまだなのか。	区民説明会 (芝浦港南)	環境リサイクル支援部	環境課	低騒音型の航空機は空港の利用料を抑える工夫をしている。これからも騒音の低い航空機の導入を求めています。	5
26	基本目標3 健康で快適に暮らせるまち	区の責務として指定喫煙場所の整備に取り組み、民間事業者喫煙所について指定喫煙場所と指定した場合に区民等が利用できることに賛同する。区が整備を進めている密閉型喫煙場所の整備が難しい場所であった場合には、開放型の喫煙場所による整備をして1か所でも多くの指定喫煙場所の整備を推進していきたい。	インターネット	環境リサイクル支援部	環境課	喫煙場所整備は、分煙対策を講じることが重要であると認識しており、密閉型喫煙場所の整備が難しい場所であった場合には、近隣の事業者に対し港区屋内喫煙所設置費等助成制度の活用を促し、屋内喫煙場所の設置を進めることに取り組んでおります。	2
27	基本目標4 水と緑のうおいと生物多様性の恵みを大切に するまち	港区みどりを守る条例施行規則第11条に規定される基準緑化面積において、量だけではなく質の向上を促す基準への変更を視野に入れていくべきである。現在の基準では量の確保を目的としているため、壁面緑化で基準を満たしている事例も多くみられるが、状態の悪い樹木の維持管理がしにくいなど、緑の育成の観点からも好ましい状況であるとは考えにくいのではないかと。	インターネット	環境リサイクル支援部	環境課	緑化指導においては、一定の大きさ以上の既存樹木・樹林に関する緑化面積の割増や、地上部緑化を重視した指導により、緑の量の確保と質の向上に努めています。また、生物多様性緑化ガイドにより公共・民間施設建設の際の緑化の指針を示し、生物多様性緑化チェックリストの提出により、生きものが生息しやすい環境の創出を指導しています。引き続き、これらの取り組みにより、緑の量の確保と質の向上に取り組んでま	3
28	基本目標5 環境保全に取り組む人が つながり行動を広げる まち	多くの人たちに関係価値の意識を高めるために、「東京の森川海を知る」の取組を義務教育の段階で義務化するなど、教育委員会と連携しながら港区の森川海の自然と人にある関係価値の醸成について積極的に取り組んでいただきたい。	インターネット	環境リサイクル支援部 /教育委員会 会事務局学	環境課/教育指導担当 課	近年、環境保全と経済活動において、関係価値が注目されており、両者はトレードオフの関係ではなく両立して発展・成長していくものです。関係価値を正しく理解し、醸成を図ることは大切であり、教育委員会と連携して取り組んでまいります。	2
29	基本目標5 環境保全に取り組む人が つながり行動を広げる まち	区民の大人の皆様にも「東京の森川海を知る」を体験いただきたい。	インターネット	環境リサイクル支援部	環境課	エコプラザでは、身近な海の環境について、子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象に、講座や展示、ワークショップ等を開催しております。また、「みなと区民の森」を活用した環境学習では、自然の中で生態系と人間の関わりについて体験する機会を提供しております。大人の皆様を対象とした自然体験学習等については、可能な限り検討してまいります。	2
30	基本目標5 環境保全に取り組む人が つながり行動を広げる まち	m e c cでは他区の事業者は入れない、他の区はなぜやらないのかという声がよく聞かれる。他の区の事業者と連携できればいいのではないかと。いろいろな自治体の話を聞く機会があれば、新しい取組が生まれるのではないかと。	区民説明会 (芝)	環境リサイクル支援部	環境課	みなと環境にやさしい事業者会議(m e c c)は、港区内で環境に関する活動に取り組むことを条件に、区外事業者でも加入可能です。企業間等が繋がる新しい協働の場として、環境保全に関する資源の共有や事業活動等の推進を図るなど、環境保全意識の向上に取り組むとともに、取組を全国に発信しております。	2
31	基本目標5 環境保全に取り組む人が つながり行動を広げる まち	企業から環境問題とSDGsに関して何に取り組めばいいのかわからないという声を聞く。トップダウンは、担当者が何をしたらいいのかわからず、担当者はおおよそ3～5年で異動してしまうため、指導や引き継ぎが課題である。	区民説明会 (芝)	環境リサイクル支援部	環境課	企業等の環境に関する取組について、様々な課題や悩みがあることは、承知しております。みなと環境にやさしい事業者会議(m e c c)では、企業等の環境に関する様々なご相談に応じております。また、エコプラザの講座やエコライフフェアMINATO等の環境啓発事業では、多種多様な環境に関する活動事例や研究開発の進捗等についてご紹介しております。今後とも、事業者、区民及び区の先進的な環境に関する取組について、積極的に情報発信してまいります。	2
32	基本目標5 環境保全に取り組む人が つながり行動を広げる まち	企業から、こんなことを考えているが何か知見はないかという相談がある。その時は合いそうな事業者を紹介して、新たな事業が始まることもある。企業が悩んでいることは同じである印象を受ける。	区民説明会 (芝)	環境リサイクル支援部	環境課	企業等の環境に関する取組について、様々な課題や悩みがあることは、承知しております。みなと環境にやさしい事業者会議(m e c c)では、企業等の環境に関する様々なご相談に応じております。また、エコプラザの講座やエコライフフェアMINATO等の環境啓発事業では、多種多様な環境に関する活動事例や研究開発の進捗等についてご紹介しております。今後とも、事業者、区民及び区の先進的な環境に関する取組について、積極的に情報発信してまいります。	2
33	基本目標5 環境保全に取り組む人が つながり行動を広げる まち	企業からは施策をきちんと行ってほしい、港区が目指しているもの・道筋を教えてください、補助金を拡充してほしいという要望を聞く。	区民説明会 (芝)	環境リサイクル支援部	環境課	本計画で掲げためざす環境像の実現に向け、五つの基本目標を定め、施策・取組を推進してまいります。また、助成金の拡充については、今後の技術革新やCO2削減効果等を踏まえ検討してまいります。	2
34	基本目標5 環境保全に取り組む人が つながり行動を広げる まち	環境保全活動や、環境教育の成果として関係価値の指標をお使いいただきたい。	インターネット	環境リサイクル支援部	環境課	ご意見を踏まえ、関係価値の指標について検討してまいります。	5

No	主な該当分野	区民意見	区分	回答部署		区の考え方	対応状況
				部	課		
35	基本目標5 環境保全に取り組む人がつながり行動を広げるまち	素案にもある通り、行政の力で情報収集・マッチングを進めてほしい。	区民説明会 (芝浦港南)	環境リサイクル支援部	環境課	ご意見を踏まえ、検討してまいります。	5
36	基本目標5 環境保全に取り組む人がつながり行動を広げるまち	以前お台場レインボー公園に風車があったが、結局稼働せず撤去になったのがとても残念だった。教育の一環でもあり、良い取組だったので、できれば例年的にできるようにしてほしい。	区民説明会 (芝浦港南)	環境リサイクル支援部	環境課	設備の老朽化及び維持管理会社のメンテナンス終了に伴い、公園利用者の安心・安全を確保するために撤去しました。再設置の予定はありませんが、ご意見として受け止めさせていただきます。	5
37	—	災害時の地下の整備をしていただきたい。	持参	防災危機管理室	防災課	現時点で整備の予定はありません。	5
38	—	公園などに災害時の果樹、井戸水の設置をしていただきたい。	持参	防災危機管理室/各総合支所	防災課/まちづくり課	区は、災害時の生活用水を確保するため、区内の公園や児童遊園、学校に災害対策用井戸を、港南公園には非常用受水槽を設置しております。また、民間事業者と協定を締結し、一定量の水の確保が見込まれる22か所の井戸を民間非常災害用井戸に指定し、災害時や長期的な断水時に、生活用水として活用できるようにしております。今後もこのような地域の井戸を活用した、災害時の生活用水の確保に努めてまいります。 また、不特定多数の人が出入りする区立公園では、衛生面での懸念から、基本	5
39	—	タワマンなどに雨戸の整備をしていただきたい。	持参	防災危機管理室	防災課	現時点で整備の予定はありません。	5
40	全般	各自治体との連携は、どこかに行っているのか。	区民説明会 (芝)	環境リサイクル支援部	環境課	国産木材の活用を通して、林業の活性化及び低炭素化社会に貢献するために「みなと森と水ネットワーク会議」という連携組織を構成しており、全国84自治体と協定を締結しております。 また、毎年小学生を対象に、みなと区民の森づくり事業で連携する東京都あきる野市と、それぞれの区市の環境を活かした自然体験、環境学習を実施しております。 その他、福島県白河市をはじめとした3自治体と再生可能エネルギーの活用について協定を締結しており、麻布地区総合支所や麻布保育園等の区有施設で再生電力を使用しております。 全国193の自治体で構成される「生物多様性自治体ネットワーク」へ参加し、他自治体との連携、情報共有を図っている他、緑化推進に関して近隣区（中央区、新宿区、品川区、目黒区、渋谷区、千代田区）と連携会議を行い、事業の	2